

令和4年度（2022年度）第1回教職員の働き方改革適正化検討委員会について（議事録）

1 日時 令和4年（2022年）9月5日（月）午後3時から午後5時15分まで

2 場所 中央公民館2階 205学習室

3 議事録

【1】議題（1）部活動における働き方改革について

（教育委員会代表・委員）

- 部活動のあり方については、昨年度働き方改革検討委員会でもメインテーマとして取り上げることが決まったところであるが、一方で「いきいき部活動検討委員会」でも議論が進んでいっている。
- 「いきいき部活動検討委員会」は、市内で部活動の中における、いじめ・暴言・体罰などをきっかけとして不祥事が起きたことを受けて、令和2年度末に発足した組織。子ども達がいきいきと活動出来ることをメインテーマとしている。管理職・顧問の先生・学識者の先生（大学の先生）を交えて議論をしているところ。令和3年度は、部活動を指導するうえで必要なことをまとめた「部活動指導者育成シート」を作成した。ガイドラインのP.14に指標を掲載。必ず守って欲しいという厳しいものとなっている。P.15に県と市の研修計画を示し、どのカリキュラムを受ければ、育成指標のどの項目に当てはまるかを示している。
- 令和5年度から部活動の地域移行が始まってくることを受けて、令和4年度はそれに向けた話し合いをしていっているところ。地域移行が進むことで、教員の負担軽減につながることは間違いないことではあるが、現状難しい課題がある。主なものとして「①財源」「②人材確保」。特に部活動については、教育における基本的意義も踏まえて考えていかなければいけない。
- いきいき部活動検討委員会の中では、土日の部活動が負担なので、是非とも地域移行を進めていって欲しいという意見もあれば、教育における基本的意義も踏まえて、今の状況を壊してくれるなどという意見もある。宝塚市としては、令和5年度から一気に地域移行に進めていくのではなく、令和5～7年度をかけてじっくりと「移行期間」として形を作っていきたい。国の方針もある程度そういった考え方を推奨しているところでもある。
- どちらかという、働き方改革に資するという考えはありつつも、「適正に部活動をどうしていくのか」「子どもたちのためにどうしていったらいいのか」を柱として考えている、いきいき部活動検討委員会と、働き方改革を柱として進める当委員会が、それぞれで違う場所で協議をするのではなく、それぞれが両輪となって方向性を構築いくようにしていきたい。

- そのために、働き方改革検討委員会の委員の中から、中学校長代表から1名、教職員代表から2名、市教委代表から1名の合計4名を、いきいき部活動検討委員会から選任を受けて、検討委員会に参画する。そこでの議論を働き方改革に持ち帰ってもらい、議論を深めたうえで、再度いきいき部活動検討委員会に持っていくような流れを作りたい。
- 中学校長代表は、現在もいきいき部活動検討委員会に参加している校長にお願いしたい。市教委代表委員は決定済みで、教職員代表については現在のところ未決定。

【2】部活動における働き方改革に関する意見及び質疑応答

- いきいき部活動検討委員会は、そもそも今後控えている部活動の地域移行のために組織されたものではなく、宝塚市で起こった部活動の問題を見直していこうというのが主旨だった。それが地域移行しないといけないとなった時に、部活動のことを話し合っている会だから、地域移行のことも含めて検討していく会となった。それで間違いないか。【委員長】
- ⇒ おっしゃるとおり。部活動は色々な問題を抱えているものなので、その中で働き方改革に関しても十分進めていける場だと考えている。【教育委員会代表・委員】
- そう考えた時に、あまり部活動の在り方に重心が偏ってくると、地域移行が進みづらくなっていくので、そこは注意してもらいたいし、方向性を示していかなければいけないので、よろしくお願ひしたい。人件費の予算要求についてはどういった内容か具体的に教えて欲しい。【委員長】
- ⇒ 今一番大きいのは、国が財源を示してくれていないというところ。市としては予算要求としては、モデル事業が出来ないかと考えているので、それ用として2名分の報酬額を要求している。ただ何もせず沙汰を待っているという訳ではなく、部活動指導者育成シートは、地域移行した際に、地域の方・外部指導者の方が我々と同じ思いで部活動を見てくれるよう、その思いを形にして作成したという意図もある。これを用いて11月には、60名程度いる外部指導者の方々を対象に研修をしたいと思っている。【教育委員会代表・委員】
- 地域移行といっても考え方が2つある。全てを地域の方をお願いするのか、普段実施は学校でやるが、大変な時に手伝ってもらおうというのも地域移行。【委員長】
- ⇒ 活動場所は今やっているところと一緒に。経験のない部活動を持つのが大変な教師の代わりに部活動指導員が62名現在いる。ただし、試合は教師が引率しなければならないということになる。一方で、クラス数も減って来て教師の数も減っているのに、地域の要望によって部活動はなかなか無くせないという事情もある。先ほどの2名分の予算のうち1名は、完全に平日の活動から試合も含めてすべてを任せるモデルケースにしようと思っている（現在の小学校の社会体育団体の延長線上で中学部も作るというイメージ）。もう1名は活動場所は学校だが、教師は一切関わることな

く、平日の部活動も土日の試合も見るというモデル。責任も全て持ってもらうが、学校内での活動で学校側に責任は無いと言えるのが争点にはなっている。今はそういった試行錯誤をしているところ。【教育委員会代表・委員】

- 実際に部活動を見ている身としては、1人で複数の部活動を見る形になってきており、さすがに炎天下でやる部活動を見切れないというところもある。地域移行する形が決まっているのであれば、次年度以降そうなるまで我慢すればいいが、方向性も何も決まっていなくてであれば、もう物理的に部活動を減らさないといけないのではないか。もう少し教師に方向性を示してくれないと現場でも錯綜してしまう状態。部活動を外部指導者と複数で見るというのも指導方針の相違で子ども達を混乱させてしまうのではという心配もある。【教職員代表・委員】

⇒ そこを含めていきいき部活動検討委員会で話し合わないといけないと思っている。色々な意見を考慮していかなければいけないと思う。ただ、部活動の数を減らしていくというところの方向性は避けて通れないと思っている。【教育委員会代表・委員】

- 部活動の運営主体はあくまで学校であるというところは変わらないのか。それもこれから考えていく？【委員長】

⇒ 部活動という限りは学校にあると考える。部活動と社会教育団体との大きな違いは、部費などの徴収金が発生していないかどうか。受益者負担として保護者がお金を出し合って外部で成り立っているのであれば、それは部活動ではなくなる。例えば今まで部活動をやっていた子に、これから年会費などがかかる外部でやると言ってしまったら、続けられない子が出てくるかもしれない。そのようなことも十分に考慮をしていかないと、結論は出せない問題だと思っている。令和5年度はまずはモデルをやってみて、段階的に令和8年度から完全実施にもっていききたい。【教育委員会代表・委員】

- 国から青写真として、完全に地域移行をしろと示しているのか、それとも学校にある程度残すことも想定しているのか。【教職員代表・委員】

⇒ 国は完全に地域移行という考えでやっていると思う。ただ、部活動をやりたいという教師については地域指導員になる道と、部活動として残すという選択肢も踏まえて青写真があると認識している。【教育委員会代表・委員】

- 国は地域移行を進めていく中で、宝塚市の方向性が分からない。あと、部活動が部費も無く出来ているという発言があったが、それには教職員の自腹を切ったり、やりたくもない部活動の顧問をしたり、無償の奉仕によって成り立っているという認識は持っていて欲しい。【教職員代表・委員】

- ⇒ 教職員の努力は重々理解したうえで、子ども達の負担が大きくなるという意味で部活動の無償ということを発言した。【教育委員会代表・委員】
- いきいき部活動検討委員会の中に、働き方改革検討委員会の委員が入り込んでいくと、今まで進んでいて議論がストップしてしまうという心配はないか？【学校長代表・委員】
- ⇒ 進んでいる議論に加えて、働き方改革という両輪を進めていきたいという思いがある。確かに毛色が違う議論が出てくると思うが、そこは説明のうえコンセンサスを取って進めていきたい。【教育委員会代表・委員】
- 部活動の課題が見えないと解決策が見えないので、今管理職や現場の教員が揃っているのも、それぞれが思っている課題をお聞かせ願いたい。【教職員代表・委員】
- ⇒ 昔のような、盆正月もなく部活動をやる時代ではない。時間を減らしてガイドラインを徹底させていくような流れにしないといけない。【学校長代表・委員】
- ⇒ 自分は専門でやってきてない部活動をやらされた時に、ルールも分からないのに審判の資格を取りに行かされる理不尽さ。あとは中体連の大会に該当しなかった時に4号業務手当になってしまう。見合う報酬が無いということは問題。【学校長代表・委員】
- ⇒ 昔は保護者も協力的で、時間的拘束は長かったが、その分やりがいがあった。今は理論的に要求してくる方が増えている。感謝の気持ちがあまり無いように思える。ガイドラインの大事さも分かるし、守らなければならないが、学校によって温度差がある。不平等感を感じる。このままだと部活動としてやっていくのは無理じゃないかと思っている。それならば外部に移行していく方向性にしたほうが負担も減ると感じる。【教職員代表・委員】
- ⇒ 中学校は全員顧問制と言われ、強制された。若い先生は運動部という暗黙の了解もあり、持たされていた。結婚して子供が出来ると、物理的に土日に見ることが出来ないのも、楽な部活動を持たせてもらっているが、その分他の人にシワ寄せがいくのは違うと感じる。部活動は閉鎖的な環境でもあるので、それぞれが勝手なことをやっている。ガイドラインを守っているのかということも共有されない。不公平感が残る。【教職員代表・委員】
- ガイドラインが守られていないというところは問題だと思っている。市として把握に努めているということも聞いているが、学校長から目をつぶっているとか、抜け道があるような発言があるのはどうかと思う。ガイドラインが出来た経緯も踏まえて、どうしていったらいいのかをもう一度考えなければいけないと思う。いきいき部活動検討委員会の範疇かと思うが、やっていっていただきたい。働き方改革の視点でいくと、ガイドラインどおりであれば自分は休めるのに、抜け道が優先されて休めないというのは本末転倒のことではないか。【教職員代表・委員】

⇒ 守っていくのは当然。ガイドラインの改訂版が出来たので、夏休み中に研修に回っていった。研修して行く中で、それをお願いしにいった。あまりに目に余る学校については、県から報告もあるので、それをもって市教委で指導しているということもある。89%は遵守出来ているとの結果なので、酷過ぎる状況ではないと思う。ただ、残りの11%を何とかしなければということは考えている。【教育委員会代表・委員】

【3】議題（2・3）学校行事及び会議の精選について・校務分掌の削減について

（教育委員会代表・委員）

- 物理的に業務量を削減していくことも働き方改革には重要。どう簡略化・省略可出来るかを議論いただきたい。
- 行事や会議を全く無くすというのは難しいが、コロナをきっかけに省略化出来たものについては、コロナ収束後も続けていったらいいという意見もあれば、会議などでもあらかじめ資料の整理が出来れば無駄を省けるという意見もあった。

【4】精選・削減に関する意見及び質疑応答

- もっとシステマチックなことを変えていかないと超過勤務は減っていかない。会議や行事の精選は既に学校でもう考えてやっている。学校では出来ないことを話し合う場かと思っている。先生がやらなければいけないことを考えて下ろす会なのか、ここは。【教職員代表・委員】
- ⇒ 学校で制度やシステムの構築について考えるのも確かに大事だと思うが、教職員が何が出来るかを話し合う場でもあると思う。【教育委員会代表・委員】
- いくつか案を考えてきた。①市内で欠席連絡システムのスクリレ等を入れられている学校があると思うが、市内で全学校に同じシステムを入れるべき。②面談の予約システムの導入。自分で好きな時間を入れるシステムがあればいいと思う。③記録簿について書き方の議論はあるが、記録簿をつけていれば出勤の承認とする。④教科書担当は校務分掌から外す。教科書の数合わせだけの時間ももったいない。⑤登下校の指導も学校の仕事ではないので、地域に渡す。【教職員代表・委員】
 - 欠席連絡システムの導入を決めたのも、1年間無料という話がPTAからあったからということを知っている。コロナ禍において連絡がかなり減ったという恩恵はあったが、PTAの負担で賄っているのはどうかと思うし、異動した時に違うシステムを使うというのは不便極まり無いと思うので、市として整備をして欲しい。教科書担当も夜22時～23時まで1枚の紙を作るために残っている。数が違ったら、市教委が「ここが違う」と言ってくるらしいが、初めから数が分かっているのであれば、元々数を入れてくれたら校務分掌としていらなくなるのではと思う。【教職員代表・委員】
- ⇒ 担当課不在のため、実態は把握していないが、市教委で本当に把握していて数合わせだけでやって

いるのであれば、改善を検討していきたい。場合によっては次回担当課に出席頂く等、考えたい。欠席連絡システム等については、新端末更新があり、新しいアプリの導入の情報も聞いているのでそういったアプリが課題解決の一助になるのであれば検討していきたい。

記録簿や出勤簿の二重管理は、もっと楽になればと思っている。まだ要求の段階ではあるが、勤怠管理システムの導入予算について財政部門に折衝していつている。仮に叶わなかったとしても、何かしら負担軽減になることは考えていきたい。

持ち帰り業務時間の把握については、現在のところ出来ていない。基本的には持ち帰りなしでということをお願いしている。【教育委員会代表・委員】

- 新端末は学校外での利用をウリにしているところがあるが、教育研究課に確認のうえログの調査などが出来るのではないか。持ち帰りはそれで管理してみてはどうか。【委員長】

⇒ ログ管理はされているので、技術的には可能と考える。担当課に確認する。【教育委員会代表・委員】

- システム構築などのことについては、費用がかかることなので、すぐに導入ということは当然無理だとは思いますが、他市の状況なども踏まえて前向きな検討がこの会で出来るようお願いしたい。【委員長】

- 校務分掌ではないが、スクール・サポート・スタッフが自分の学校だけ配置が無い。何の説明もない。良い方法が聞けたらいいと思って今日は来た。1学期全然いなくて、2学期に入っても来ないので、1年間いないのではと思ってしまう。もう来れないのであれば、新しい方を配置頂くなど、何らかの対策をお願いしたい。【教職員代表・委員】

⇒ 何もしていないということは一切ない。事態解決に向けて努力しているところなので、ご理解いただきたい。いないということはそれなりの事情がある訳で、それについてはこの場で言えないことなので、ご了承いただきたい。【教育委員会代表・委員】

- 2人目の配置は出来ないのか？【教職員代表・委員】

⇒ 予算の積算上、2名分配置は難しい。一方で今給料を払っていないので、その分の予算を考えれば出来ないことではないと思うが、その方が任用継続となっている段階では動けないところなので、1日でも早く事態の解決に努めていきたい。【教育委員会代表・委員】

- 教育委員会から先生への説明が出来ないのかということと、メドを示せないのか？【教職員代表・委員】

⇒ 期限を含めた話については、進展次第で法律相談もしながら検討していきたい。説明というところに関しては、なぜ校長がしてないのか不可解に感じている。【教育委員会代表・委員】

⇒ 校長への事実確認をしていって、説明の部分については検討したい。【委員長】

● スクール・サポート・スタッフの業務について、どこまでお願いしていいのかが学校によってまちまちなので、お願いしづらいということもある。文科省では、丸付けやデータ入力も可能と聞いている。市教委で示していただくと、お願いしやすいし、業務改善にもつながると思っている。【教職員代表・委員】

⇒ 仕事の概要は説明しているが、各学校によって柔軟という趣旨もあるので、ガチガチに固めている訳ではない。ただ、どういう実情なのか分かりづらいというのは理解した。現在アンケートをやっているので、その集計結果についてフィードバックさせていただきたい。【教育委員会代表・委員】

⇒ 今ついているスクール・サポート・スタッフは、コロナ対策のための配置なので、消毒・清掃作業を中心にやって欲しいというお願いをしている。【事務局】

⇒ 学校に来ている人の特徴によって、得手不得手があるので、出来ることや出来ないことを聞いたうえで、お願いしている。学校長が認める業務と概要に書いてあるので、ある程度は学校裁量で決めている。【学校長代表・委員】

● 全員顧問制は規程で決まっているのか？中体連以外の大会は4号業務というのはこれも規程で決まっているのか？【教職員代表・委員】

⇒ 顧問制は規程より、昔からの慣習という部分で暗黙の了解があった。今でも残っているので、変えていかなければいけない。【学校長代表・委員】

⇒ 3号が中体連の大会に限るということは県の給与関係規程集に記載のあるものなので、県の規程で決まっている。【事務局】

【5】次回に向けて

● 本日出た意見等を次回進展や、回答をキチンとできるようにお願いしたい。校務分掌については意見出すのが難しいと思うので、次回どうしたら具体的な議論が出来るのか調整していただきたい。

【委員長】

4 閉会